

イネ内穎褐変病の生態

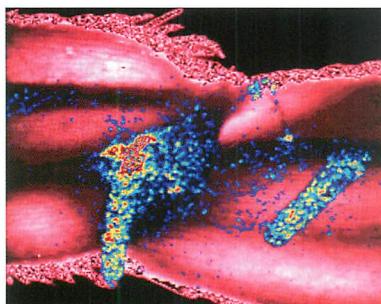
(長谷川 優氏原図、本文5ページ参照)



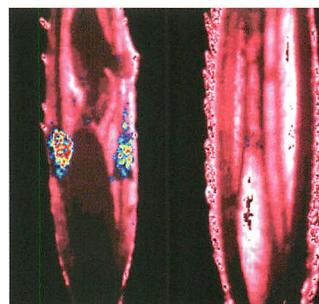
①イネ内穎褐変病の発病粉



②穂ばらみ期のイネに発光細菌を噴霧接種した場合の枯死組織における発光（左：明下、右：暗下、発光強度：赤色>橙色>黄色>黄緑色>水色>青色）



③イネの開花後の粉に付着した葯における発光



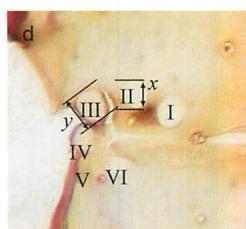
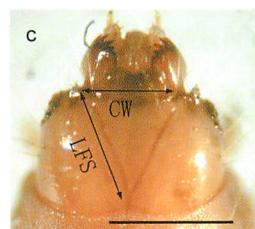
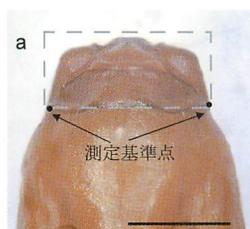
④イネの発病初期における柱頭部位の発光（左：内穎、右：外穎）



⑤発病初期における柱頭部の褐変

コカクモンハマキ属3種の幼虫および蛹期における識別法

(坂巻 祥孝、早川 達也氏原図、本文1ページ参照)



①コカクモンハマキ属3種の蛹期および幼虫期の種差を測定した形質

a : 蛹の頭十前胸部の輪郭。b : 蛹の腹節背面前縁の鋸歯数。c : 幼虫の前額縫線長 (LFS) と頭楯幅 (CW)。d : 幼虫の個眼番号と第2眼・第3眼比率 (幼虫頭蓋のプレパラート標本、向かって左が頭部先端方向)

屋久島におけるゾウムシ2種の緊急防除と根絶

(農林水産省門司植物防疫所原図、本文28ページ参照)



①アリモドキゾウムシ
(体長：6～7mm)



②イモゾウムシ
(体長：3～4mm)

両種ともサツマイモの大害虫でイモに寄生すると異臭と苦味が発生して食用はもちろん、加工用、飼料用にも使えなくなる。